

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 滝沢ハム株式会社

コード番号 2293 URL <http://www.takizawaham.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧澤 太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山口 輝

TEL 0282-23-5640

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	14,749	5.3	△175	—	△143	—	△184	—
25年3月期第2四半期	14,011	△0.3	△19	—	△18	—	△42	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △116百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △62百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△17.94	—
25年3月期第2四半期	△4.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	11,210	2,210	19.7	215.26
25年3月期	11,593	2,327	20.1	226.62

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,210百万円 25年3月期 2,327百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,600	5.2	80	—	110	—	30	—	2.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	10,510,000 株	25年3月期	10,510,000 株
26年3月期2Q	240,284 株	25年3月期	240,284 株
26年3月期2Q	10,269,716 株	25年3月期2Q	10,269,967 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済対策や金融政策により円安・株高が進行し、一部に景気回復の兆しが見られましたが、個人所得や個人消費の回復は限定的となり、先行き不透明な状況が続きました。

当業界におきましては、急激な円安による物価上昇や消費増税等による消費者の生活防衛意識が高まる中、業界における企業間競争がさらに激化し厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは今年度の新商品を中心に売上の拡大を図るとともに、生産ラインの見直しによる製品の歩留り改善や労働時間の短縮及び商品の統廃合等を推進し、コスト削減に努めてまいりました。また、食肉部門におきましては、北米産のブランド牛肉・豚肉の拡販に努め食肉部門の売上回復を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、食肉加工品についてはソーセージ等の新商品及び生ハム類の売上高が好調に推移し、売上高は増加いたしました。食肉部門につきましても相場の回復や輸入食肉の販売強化を図ったことにより売上高は増加いたしました。その結果、売上高は147億49百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

損益面につきましては、人件費等の製造コストの削減に努めましたが、原材料等の価格上昇及び電力料金や物流費等の販売費用の増加要因により営業損失1億75百万円（前年同期19百万円の営業損失）、経常損失1億43百万円（前年同期18百万円の経常損失）、四半期純損失1億84百万円（前年同期42百万円の四半期純損失）の計上となりました。

部門別の概況は次のとおりであります。

食肉加工品部門

食肉加工品部門につきましては、ハム類等既存商品の売上は伸び悩みましたが、生ハムや新商品の拡販を図ったことによりこの部門の売上高は増加いたしました。この結果、この部門の売上高は59億43百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

惣菜その他加工品部門

惣菜その他加工品部門につきましては、ハンバーグ等の既存商品の売上が伸び悩んだため、この部門の売上高は減少いたしました。この結果、この部門の売上高は20億20百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

食肉部門

食肉部門につきましては、食肉一次加工品の売上は伸び悩みましたが、輸入牛肉及び輸入豚肉はブランド商品の拡販に努め売上高は増加しました。国産牛肉・豚肉についても、相場の回復と販売の回復により増加いたしました。この結果、この部門の売上高は67億34百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

その他部門

その他部門につきましては、この部門の売上高は50百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

なお、第1四半期連結累計期間より事業部門別の区分を変更しており、各事業部門別の比較については、変更後の区分に組み替えた数字で比較しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億83百万円減少し、112億10百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ2億66百万円減少し、89億99百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加はありましたが、買掛金及び長期借入金が減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億16百万円減少し、22億10百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加はありましたが、四半期純損失計上により利益剰余金が減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1億45百万円減少し12億27百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果支出した資金は、27百万円（前年同期2億4百万円の収入）となりました。これは主に売上債権の減少はありましたが、税金等調整前四半期純損失の計上と仕入債務の減少が大きかったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果支出した資金は、1億17百万円（前年同期比9.7%増）となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果得られた資金は、819千円（前年同期3億34百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出はありましたが、短期借入金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成25年5月14日に公表した業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日付で公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（役員退職慰労金制度の廃止）

当社は、平成25年6月27日開催の定時株主総会において、経営改革の一環として、役員退職慰労金制度廃止に伴う打切り支給（支給の時期は各取締役及び監査役の退任時）を決議いたしました。

これに伴い、第1四半期連結会計期間において、当社の「役員退職慰労引当金」130百万円を取崩し、打切り支給に伴う未払額を固定負債の「その他」に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,604,919	1,459,860
受取手形及び売掛金	3,043,343	2,644,506
商品及び製品	1,131,226	1,227,368
仕掛品	162,500	177,445
原材料及び貯蔵品	182,290	206,361
繰延税金資産	53,392	48,832
その他	52,042	39,896
貸倒引当金	△4,914	△4,222
流動資産合計	6,224,799	5,800,047
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,393,551	1,397,085
機械装置及び運搬具(純額)	190,197	171,693
土地	1,842,375	1,840,686
リース資産(純額)	430,784	392,549
その他(純額)	78,790	86,574
有形固定資産合計	3,935,700	3,888,588
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,108,984	1,215,988
繰延税金資産	7,765	—
その他	262,033	257,011
貸倒引当金	△6,897	△24,066
投資その他の資産合計	1,371,885	1,448,933
固定資産合計	5,368,373	5,410,068
資産合計	11,593,173	11,210,116

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,753,389	2,590,571
短期借入金	2,877,608	3,105,896
リース債務	121,659	125,152
未払法人税等	20,969	16,225
賞与引当金	82,801	81,542
訴訟損失引当金	37,000	—
その他	895,829	754,321
流動負債合計	6,789,257	6,673,709
固定負債		
長期借入金	1,311,027	1,145,565
リース債務	349,804	305,432
繰延税金負債	58,586	95,417
退職給付引当金	578,682	559,196
役員退職慰労引当金	131,737	2,645
環境対策引当金	10,555	10,555
その他	36,248	206,922
固定負債合計	2,476,641	2,325,732
負債合計	9,265,898	8,999,442
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080,500	1,080,500
資本剰余金	685,424	685,424
利益剰余金	452,579	268,318
自己株式	△3,975	△3,975
株主資本合計	2,214,528	2,030,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112,746	180,405
その他の包括利益累計額合計	112,746	180,405
純資産合計	2,327,275	2,210,673
負債純資産合計	11,593,173	11,210,116

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	14,011,393	14,749,981
売上原価	11,550,933	12,406,887
売上総利益	2,460,459	2,343,094
販売費及び一般管理費	2,479,599	2,519,027
営業損失(△)	△19,140	△175,933
営業外収益		
受取利息	59	138
受取配当金	11,223	12,108
補助金収入	2,708	1,487
受取賃貸料	10,425	13,387
クレーム補償金収入	—	14,980
設備負担金収入	—	8,585
その他	13,000	11,703
営業外収益合計	37,418	62,391
営業外費用		
支払利息	32,920	29,679
その他	3,646	56
営業外費用合計	36,567	29,735
経常損失(△)	△18,289	△143,277
特別利益		
損害賠償金収入	21,390	6,784
特別利益合計	21,390	6,784
特別損失		
固定資産除却損	10,795	3,346
減損損失	1,080	1,717
投資有価証券評価損	344	—
訴訟関連費用	—	23,000
特別損失合計	12,220	28,064
税金等調整前四半期純損失(△)	△9,119	△164,556
法人税、住民税及び事業税	8,429	7,378
法人税等調整額	24,501	12,325
法人税等合計	32,930	19,703
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△42,050	△184,260
四半期純損失(△)	△42,050	△184,260

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△42,050	△184,260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,572	67,658
その他の包括利益合計	△20,572	67,658
四半期包括利益	△62,623	△116,601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△62,623	△116,601

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△9,119	△164,556
減価償却費	163,226	165,942
減損損失	1,080	1,717
引当金の増減額(△は減少)	△42,725	△6,643
受取利息及び受取配当金	△11,283	△12,246
支払利息	32,920	29,679
固定資産除却損	10,795	3,346
投資有価証券評価損益(△は益)	344	—
損害賠償金収入	△21,390	△6,784
訴訟関連費用	—	23,000
未払消費税等の増減額(△は減少)	△61,565	△11,563
売上債権の増減額(△は増加)	32,257	380,527
たな卸資産の増減額(△は増加)	△107,402	△135,157
仕入債務の増減額(△は減少)	195,688	△162,817
その他の資産の増減額(△は増加)	3,898	34,771
その他の負債の増減額(△は減少)	59,154	△77,579
その他	△8,736	△7,308
小計	237,142	54,326
利息及び配当金の受取額	11,283	12,246
損害賠償金の受取額	21,390	6,784
訴訟関連費用の支払額	—	△60,000
利息の支払額	△33,563	△29,944
法人税等の支払額	△31,668	△11,381
営業活動によるキャッシュ・フロー	204,584	△27,968
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△86,230	△95,709
有形固定資産の売却による収入	13,000	—
固定資産の除却による支出	△2,861	△1,999
無形固定資産の取得による支出	△28,950	△18,644
投資有価証券の取得による支出	△2,417	△2,514
貸付けによる支出	△2,350	△1,600
貸付金の回収による収入	2,212	2,277
定期預金の増減額(△は増加)	△10	△82
その他	0	281
投資活動によるキャッシュ・フロー	△107,607	△117,992
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△20,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△230,088	△187,174
配当金の支払額	△30,602	△131
その他	△53,637	△61,875
財務活動によるキャッシュ・フロー	△334,327	819
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△237,350	△145,141
現金及び現金同等物の期首残高	1,611,758	1,372,966
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,374,408	1,227,824

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。